

平成 23 年度 フォーラム

医療法人協会のフォーラムが今年も行われました。「つなげる医療、つなげる未来」というテーマで開催され、各施設活動報告、バンド演奏、シンポジウムでは、「東日本大震災に学ぶ - 被災地での経験から - 」という内容でディスカッションを行いました。



様々な医療分野の視点からプレゼンテーションがあり、日ごろ触れることの出来ない知識や体験を共有する有意義なイベントとなりました。

ZDF (ドイツテレビ協会) からの取材

2012年5月23日、ドイツのテレビ局からの取材がありました。取材内容は、「停電について。」計画停電が実施されたら病院にはどのような影響があり、どのような対策をとるのか? という話題で2時間強の熱のこもった取材でした。当日は瓦林院長が取材に対応し、設備安全確保の問題、地域医療への影響などグローバルな視点で意見を述べました。



編集後記

広報室 M

病院施設の窓から見える木に鳥の巣を発見したんです!!

どうやらこの鳥、ヒヨドリらしいのですが、餌を持って帰っては小鳥にあげようなのです。

といっても、巣の中まで覗けないので本当に小鳥がいるのかどうなのか? は、わからないのですが、頭を巣の中に突っ込んでいるところを見ると多分いるのでしょう。(望遠ショットで頑張ってみました!!)

愛♥を感じる初夏の今日この頃です。



* 東住吉森本病院のホームページでも情報が日々更新されております。 <http://www.tachibana-med.or.jp>

morimoto report

Vol.7
2012・June

<http://www.tachibana-med.or.jp/> 〒546-0014 大阪市東住吉区森合3丁目2番66号 TEL:06-6606-0010 (代表) Fax:06-6606-0035 社団法人 医療法人協会 理事長 佐藤 隆

平成 24 年度 入社式及び新入職員研修会開催

去る2012年4月1日に入社式を開催しました。本年も総勢62名(法人全体70名)という多くの方々が入社し、当日は、理事長、院長はじめ役員が祝辞を述べました。

その後の恒例、新入職員研修会では、施設概要、人事制度、感染予防、医療安全、診療録の記載、病院倫理など様々なテーマに沿ってレクチャーが行なわれ、医療の現場を実感されたことと思います。



救急・総合診療部、新体制で救急医療強化

本年度から当科の統括部長として赴任した池邊です。みなさまどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

当科は消化器、循環器疾患および外傷を中心に、300~400台/月の救急車搬送と1000~1200人/月の独歩患者を受け入れ、地域救急の中核を担ってきました。

当科は地域支援病院の役割である近隣医院・病院との連携構築をさらに発展させ、「断らない救急」を目指していきます。また救急のみならず総合診療を意識し、各科専門医師との連携をとり胃・大腸内視鏡、心臓カテーテルや腹部手術などにも迅速に対応していきます。リニューアルした救急・総合診療部をみなさまどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

<全国的な視点から>

今回の診療報酬改正で当院のDPCの係数のうち救急医療係数は、0.00747でした。全国的(平均0.00412)にみても当院の救急は高い評価となっております。



第5回 東住吉内視鏡ネットワーク カンファレンス

2012年2月18日(土) 第5回 東住吉内視鏡ネットワーク カンファレンスが開催されました。

当院からは、内科・外科より3名の医師が下記の内容で症例報告を行いました。

座長：東住吉森本病院 内科 内視鏡部長 仲川浩一郎先生

①「当院における十二指腸ステントの使用経験」

講師：東住吉森本病院 内科 渡部 公彦先生

②「慢性下痢を主症状とする collagenous colitis について」

講師：東住吉森本病院 内科 高塚 正樹先生

③「当院における成人鼠径ヘルニアに対する LPEC 施行例の検討」

講師：東住吉森本病院 外科 馬場 由香里先生

また、当院、内科 肝胆膵部長 藪さこ 恒夫先生 座長のセッションでは
大阪市立大学大学院 医学研究科 消化器内科学 准教授 藤原 靖弘先生 より
「酸関連疾患の時代変遷と今後の展望」という題名で講演がありました。

日本人の胃酸の分泌を食生活や体重、ヘリコバクターピロリ菌の有無の観点から解説。
そしてヘリコバクターピロリ菌と胃癌との関係やNSAID (非ステロイド系の抗炎症剤) の潰瘍リスクの話題、GERD(胃食道逆流症)のメカニズムなど詳細な解説があり
内科・外科双方より活発な意見交換がなされました。



第4回 RAnet ミーティング

2012年3月17日(土) 第4回 RAnet ミーティングが下記の内容で開催されました。

当院、整形外科・リウマチ科・部長 乾先生より ACR 2012 更新の話題を recommendations を中心に解説し、
また呼吸器内科・医長 伴先生からもリウマチ疾患という観点から「肺障害を伴う関節リウマチ患者の治療」
というテーマで講演がありました。

【講演1】

座長：有馬外科整形外科 院長 寺川 文彦先生

『関節リウマチ診療の新しい指標

～ACR/EULARによる寛解基準』と「2012 ACR リコメンデーション」～

講師：東住吉森本病院 整形外科・リウマチ科 部長 乾 健太郎先生

【講演2】

座長：東住吉森本病院

整形外科・リウマチ科 部長 乾 健太郎先生

「肺障害を伴う関節リウマチ患者の治療」

講師：東住吉森本病院

呼吸器内科 医長 伴 裕雅先生



心臓血管センター循環器内科・坂上部長 euro PCR で発表

当院の心臓血管センター・循環器内科部長 坂上祐司先生が2012年5月15日～18日フランス・パリで開催されたカテーテル治療の学会 euro PCR (ライブデモンストレーション、口述発表、ポスター発表など) で発表しました。
内容は、「高齢の急性冠症候群患者に対する経皮的冠動脈形成術実施時にOCT (光干渉断層装置) で評価しながら
ロータブレーターを有効に使用して治療できた症例」を報告しました。この学会の参加者は、11,387人と大規模な
学会でした。

